

## 小柳康子先生への感謝

島 高行

小柳康子先生が、今年度末で実践女子大学を退職されるにあたり、これまでお世話になったことなどを記して、感謝の言葉といたします。

初めて小柳先生にお目にかかったのは、私が東京都立大学英文科の助手を務めているころでした。当時、非常勤講師として都立大においでになっていた先生が、授業アンケートを英文研究室まで届けに来られた時が、初対面であったと記憶しております。その時から、私たち助手に対してもとても丁寧に接してくださる先生として深く印象に刻まれました。

その後、縁あって実践女子大学文学部英文学科のお世話になることになり、小柳先生と同じ場所で働く機会をいただくことになりました。それから今日まで、最初の印象と変わることなく、小柳先生はいつも穏やかで、なかなか進歩しない私を、それでもあたたかく見守り続けてくださいました。いつも優しく穏やかな先生ですが、ここぞという時には厳しくご指導くださる小柳先生には、この間、何度も助けていただきました。この機会に、あらためて感謝申し上げます。

助手として勤務していた当時から私を信用してくださったことに、あらためて深く感謝いたします。その信頼に応えるべく努力してまいりました。どれほどの貢献ができたか、こころもとない限りですが、今後とも教育、研究に精進してまいります。退職されてからも、実践女子大学英文学科の私たちを見守り、また変わらぬご交誼をいただきますようお願いいたします。

小柳康子先生のこれからの日々が、豊かで喜びに満ちたものでありますようお祈りいたします。